

公認会計士 Q&A

創価大学

会計税務教育センター 会計士課程



Q 公認会計士の魅力を教えてください。

「公認会計士」は三大国家資格の一つとして、高い将来性と安定性を有しています。
公認会計士は独占業務の財務諸表監査をはじめ、社会の様々なフィールドで自身の専門性を駆使して活躍していくことができます。

Q 数学は得意じゃないといけませんか？

得意である必要は全くありません！
数学といっても、最低限の連立方程式や等式を使う程度です。四則演算が主な計算手法となるため、算数ができれば十分です。

Q 簿記を始めるのは大学からで大丈夫ですか？

大学からで大丈夫です！

会計士課程では簿記3級の内容から教えます。合格者の中でも「大学から勉強を始めた」という方がほとんどです。大学入学前から勉強をしている方もいますが、スタートダッシュが少し早いかどうかだけなので、大学入学前に勉強を始めていなくても大差ありません。

Q 大学の授業と会計士課程の勉強の両立は大変ですか？

決して楽なことではありません。

先輩の中には本試験がないセメスターの時にしっかりと単位数を確保し、本試験があるセメスターに単位数を減らす等の対応をする方もいます。

講師は大学のOBOGのため、一緒に悩み、相談しながら学べる環境が整っています。思い切って挑戦してください！

Q 公認会計士は女性も活躍できますか？

もちろん活躍できます！

公認会計士は、男女関係なく平等にチャンスが与えられています。監査法人の中でも多くの女性が監査チームを引っ張る存在として活躍されています。さらに、監査法人における保育所の設置や時短勤務などが推進されており、出産後に職場復帰して活躍することも可能です。

Q アルバイトやサークルは掛け持ちできますか？

会計士課程の方針としては、オススメしていません。

ただし、公認会計士試験を目指すにあたっては、高額の教材費がかかります。家庭の経済状況も様々であるため、どうしても必要な方はアルバイトをやっていただいても大丈夫です。また、サークルに関しても同様です。大学は、自分の可能性を自分で見つけていく場所ですので、広い視野や、交友関係を築いていきたい方は試験勉強に支障のない範囲内でやっていただいても大丈夫です。大事なことは、どのような大学生活にしたいのかを真剣に考えていくことです。

Q 教材費はどの程度かかりますか？

教材費用は総額約40万円必要になります。（年によって若干変動します。）
高額ではありますが、会計士課程ではOBOGが教えており、講師料を頂いていません。そのため、大手専門学校よりも低い価格で公認会計士試験に挑戦できる環境が整っています。
費用面について不安がある方は遠慮なく講師にご相談ください。

Q 会計士課程の特徴を教えてください。

創価大学の会計士課程では、公認会計士試験の合格へのサポートだけではなく、試験を通じて人間的にも成長することを目的としています。そのため、講師であるOBOGが、受験生の最高の合格を勝ち取るためにあらゆる点でサポートしているところが特徴だといえます。